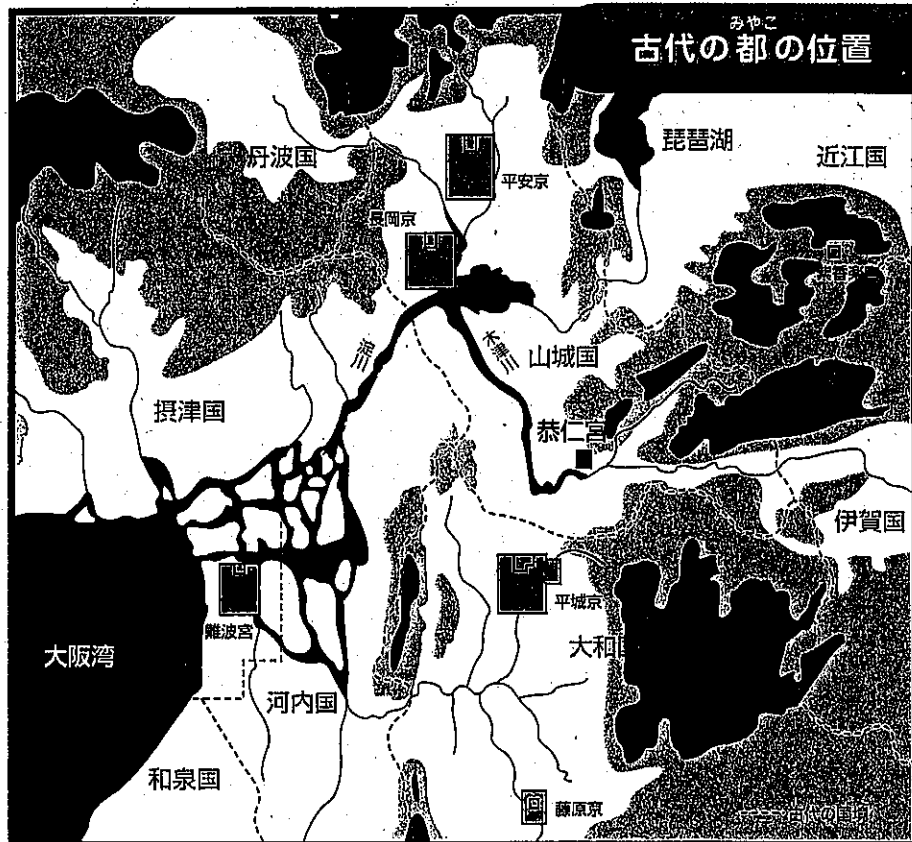


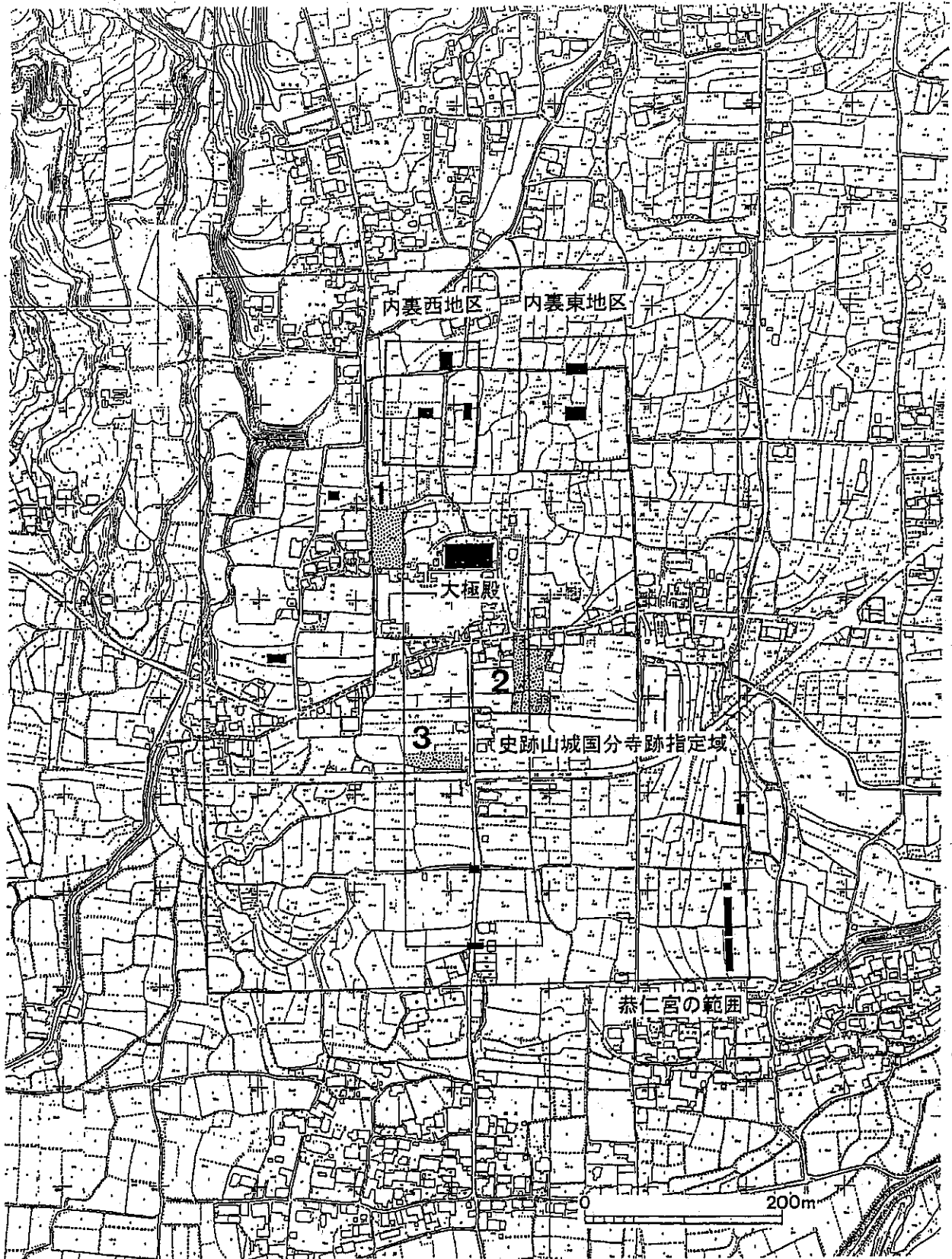
平成18年度
恭仁宮跡発掘調査現地説明会資料
京都府教育委員会
平成18年11月25日

はじめに

京都府には、古代において^{くにきょう}恭仁京・^{ながおかきょう}長岡京・^{へいあんきょう}平安京の3つの都が造られました。
恭仁京はこの3つの都の中では最も古く、今からおよそ1270年前の天平12(740)年に、^{しょうむてんのう}聖武天皇により造られた奈良時代の都です。現在の加茂町・山城町・木津町の3町にわたって広がっていたと考えられています。そして、その中心となるのが、^{みかのはら}ここ瓶原に位置する「^{くにきゅう}恭仁宮」です。

宮の中には、主に天皇が暮らし、様々な儀式などが執り行われた^{だいり}内裏や、政務や国家の儀式が行われた^{だいくでん}大極殿や^{ちやうどういん}朝堂院、さらには役人達が仕事を行った役所(官衙)など、国の中でも最も重要な施設が造られました。恭仁宮を中心とする一帯は、短い期間ながら国の首都となっていたのです。しかし、そのわずが4年後の天平16(744)年には、都は大阪の^{なにわのみや}難波宮へと移り、さらにその後再び奈良の^{へいじょうきやう}平城京へと戻されることとなりました。恭仁宮は短い役目を終えた後、天平18(746)年に山城(山背)国分寺へと造り替えられました。





第1図 恭仁宮全体図 (S=1/6,000)

これまでの調査で分かっていること

恭仁宮跡での発掘調査は、昭和48年度から京都府教育委員会が、そして昭和61年度からは加茂町教育委員会も一緒になって行っています。

これまでに大極殿や内裏の建物跡などがいくつか見つかかり、宮の中がどのようなになっていたのか少しずつですが分かってきました。宮域は東西におよそ560m、南北におよそ750mの大きさで広がり、背の高い土塀(築地塀)で囲まれていたことも分かりました。大極殿は宮の中心から少し北側に造られ、高さ1mの大きな土壇の上に築かれた東西が約45m、南北が約20mもある大きな建物でした。柱を大きな石材(礎石)の上に建てる礎石建物で、北西と南西の隅に使われた礎石は、当時のままの位置にあることが調査によって分かりました。また、大極殿の北東では大きな掘立柱建物も見つかっています。東西が約43m、南北が約12mとなり、大極殿に次ぐ大きさの建物です。大極殿が完成した後には取り壊されたしまったと考えられます。大極殿の北側には、東西に2つ並ぶ塀で囲まれた区画があることが分かり、これが内裏と考えられます。このような在り方は、他の都では見られない恭仁宮だけのものです。この2つの区画をそれぞれ「内裏西地区」・「内裏東地区」と呼んでいます。「内裏西地区」は、周りが全て板塀(掘立柱塀)で囲まれ、東西が約98m、南北が約128mの大きさでした。「内裏東地区」は東・西・南の三方が土塀(築地塀)、北側が板塀(掘立柱塀)で囲まれ、東西が約109m、南北が約139mとなり、「内裏西地区」よりも一回りほど大きく造られていることが分かりました。朝堂院では、これまでに内側に建てられていた建物跡は見つかっていませんが、周りを板塀(掘立柱塀)で囲んでいたことが分かり、南側に造られていた門(朝堂院南門と朝集殿院南門)も見つかっています。

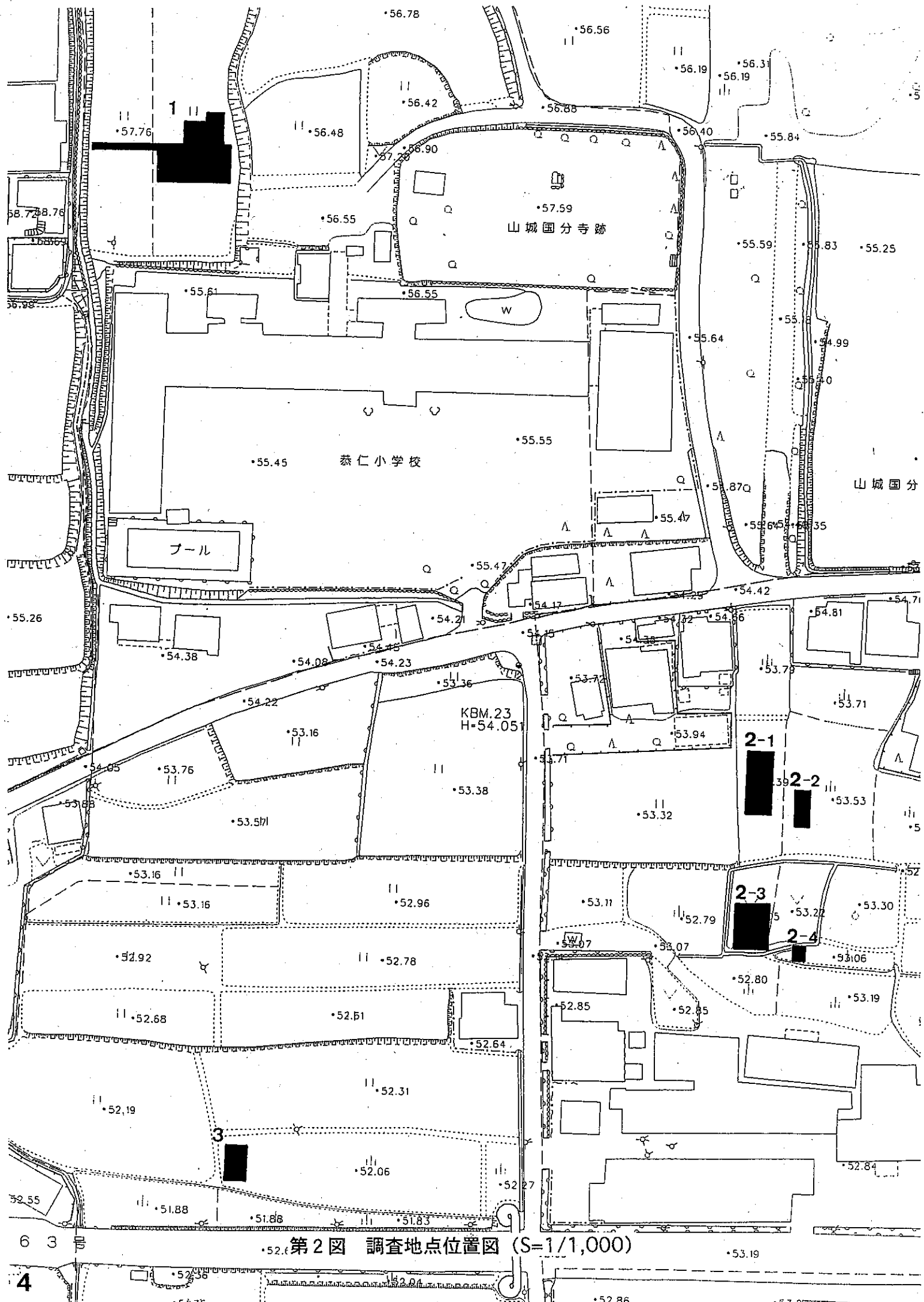
今年の調査は、大極殿の周りを囲んでいた施設(大極殿院回廊)を見つけることと、朝堂院を囲んでいた塀跡(掘立柱塀)と、内側に建てられていた建物跡(朝堂)を見つけることを目的に行いました。発掘調査は9月4日から開始し、調査面積は3地点6箇所(第1・2図)で合計420㎡です。

今回の調査で分かったこと

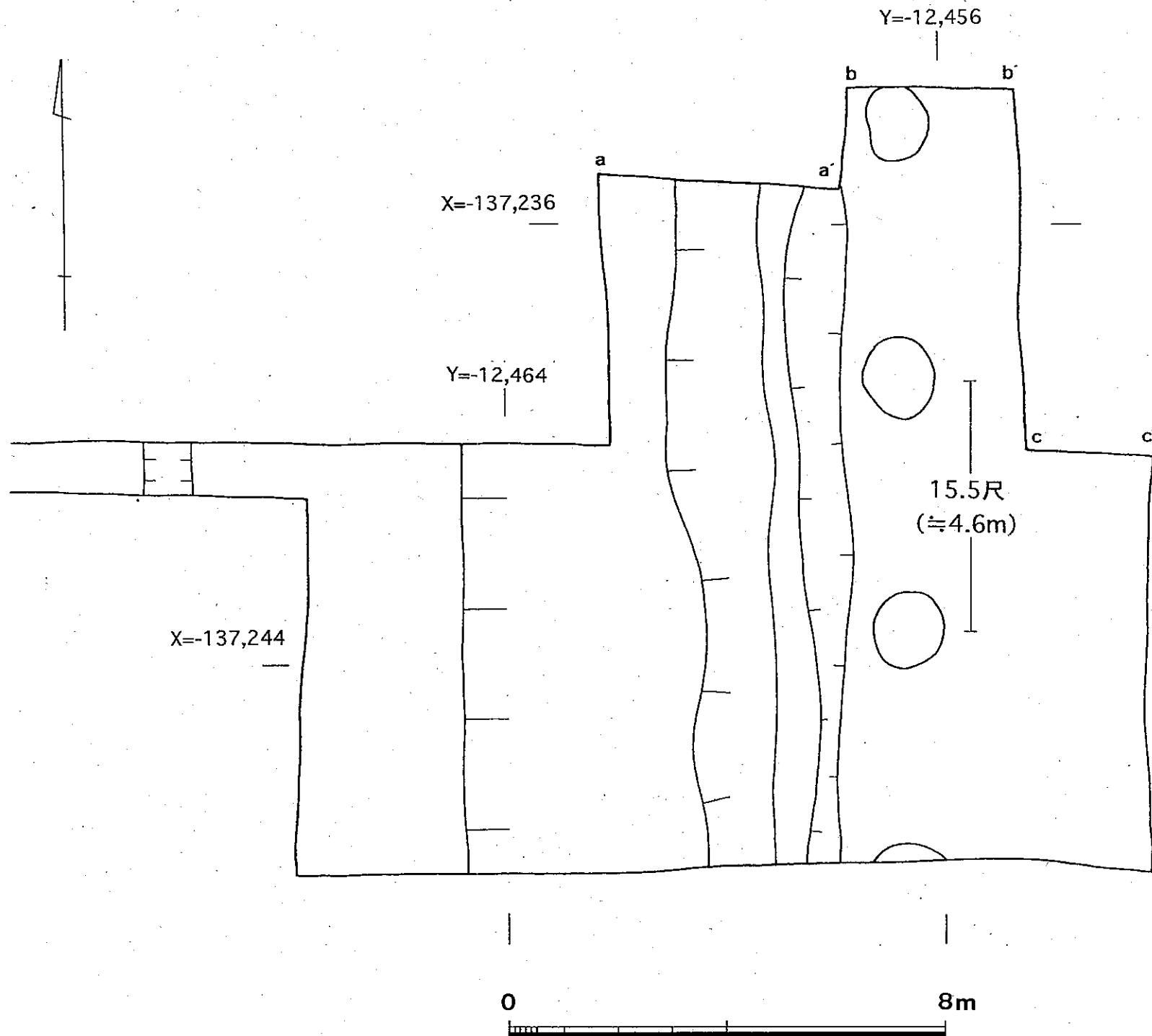
第1調査地点(第2図1)

この調査地点は、大極殿の中心から西へおよそ80mの位置になります。大極殿の周りを囲んでいた施設(大極殿院回廊)を見つけることを目的に調査を行いました。

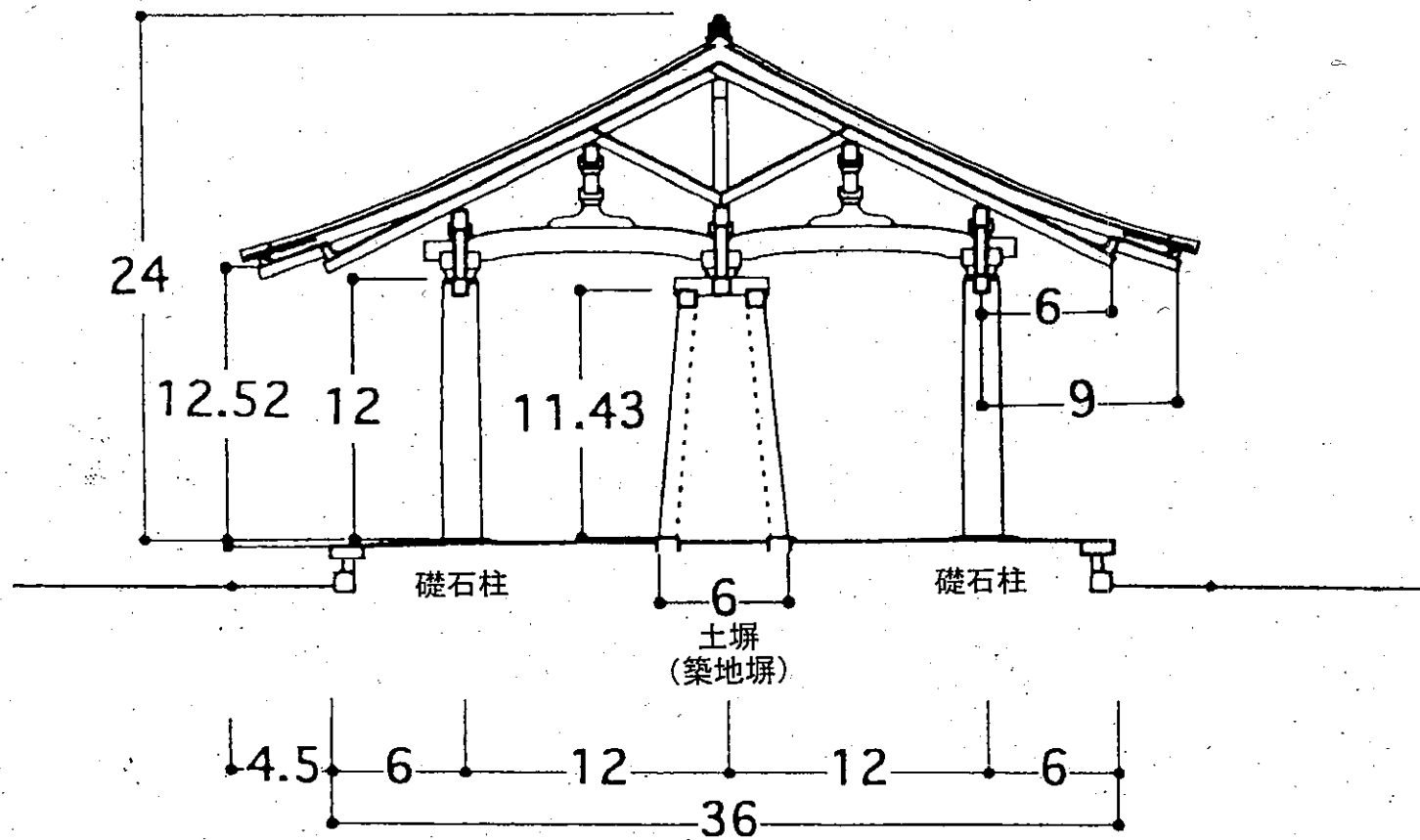
調査地では、固く締まった赤褐色の土が全体で確かめられ、これは恭仁宮の建設工事に伴う整地土と考えられます。また、調査地の東側は西側と比べて1.2m程低くなっていて、ここを埋めていた土からは平安時代から鎌倉時代の土器が見つかっています。この土の下からは、南北方向の溝1本と、直径1.2~1.5mを測る円形の穴が



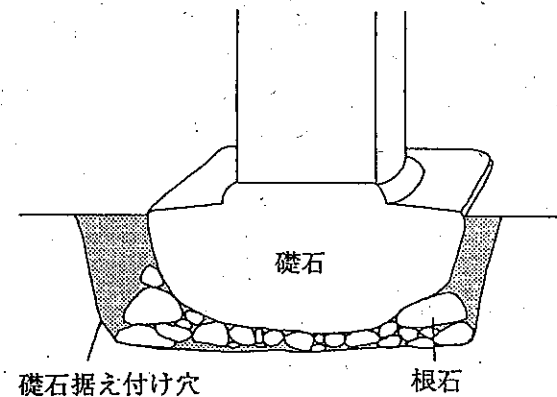
第2図 調査地点位置図 (S=1/1,000)



第3図 第1調査地点で見つかったもの (S=1/100)



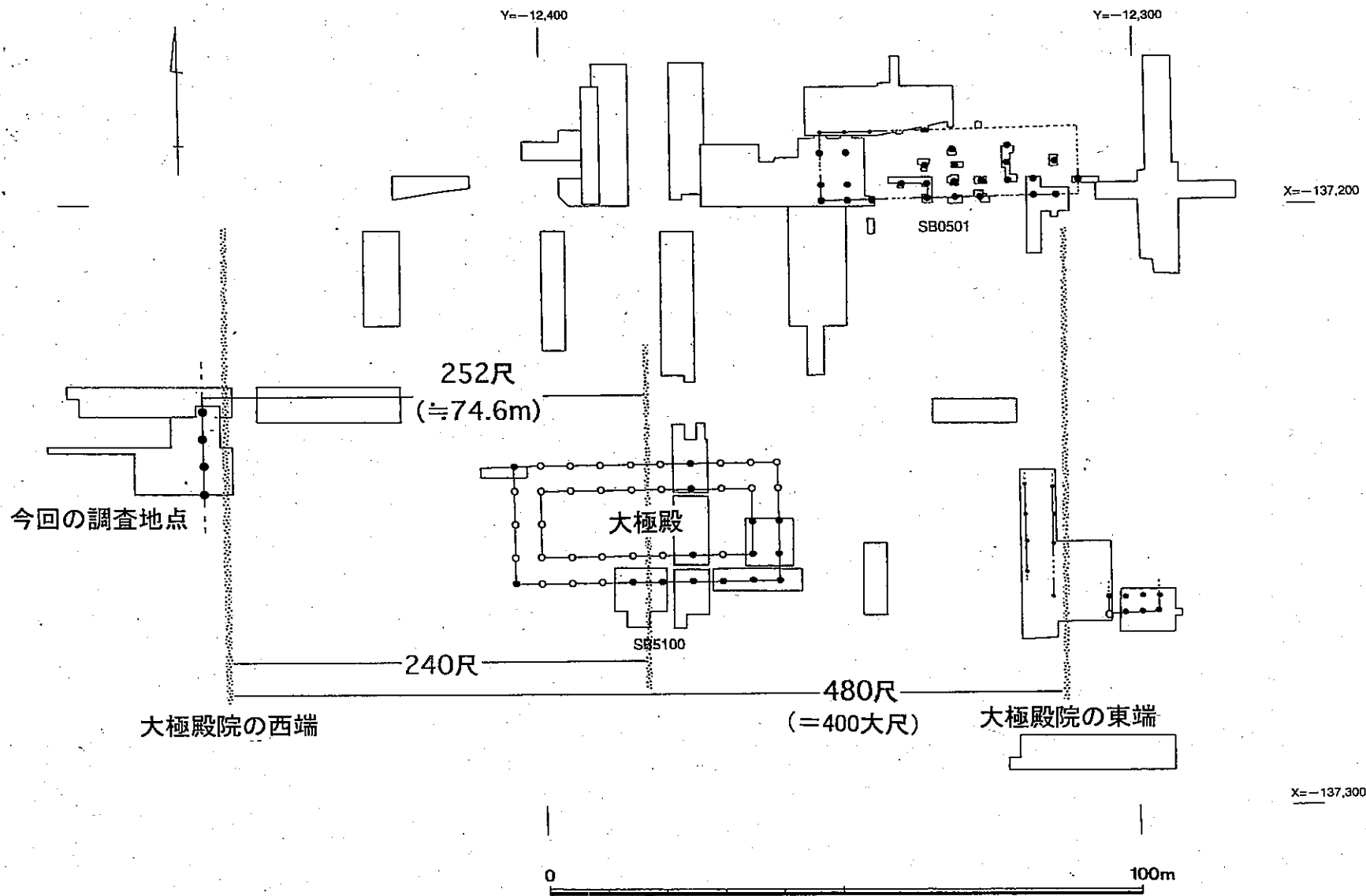
※単位は尺



礎石据え付け状況模式図

(『古代の官衙遺跡 Ⅰ遺構編』)

第4図 平城宮第1次大極殿院回廊梁間断面図 (S=1/100)
 (『奈良文化財研究所紀要2004』一部改変)



第5図 大極殿院地区で見つかったもの (S=1/1,000)